

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	国語 1	
科目基礎情報							
科目番号		101111		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		電気情報工学科		対象学年	1		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材		「高等学校 現代の国語」(第一学習社) / 「国語便覧」(大修館書店)、「ジャンプアップ高校漢字問題集[改訂版]」(東京書籍)					
担当教員		沼田 真里					
到達目標							
1. 現代文の評論を読み、基本的な読解力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを表現できる。 2. 現代文の文学作品の内容を理解し、深く共感し想像する力を伸ばし、自分の感想を口頭や文章で表現できる。 3. 実社会に必要な日本語の知識や技能を身に付けている。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		内容を理解し、自分の考えを表現できる。		内容を理解できる。		内容を理解できない。	
評価項目2		内容を理解し、自分の感想を表現できる。		内容を理解できる。		内容を理解できない。	
評価項目3		正しい日本語表現を用いて、自分らしい感想文や作文が書ける。		感想文や作文が書ける。		感想文や作文が書けない。	
学科の到達目標項目との関係							
教養 (D) コミュニケーション能力 (E)							
教育方法等							
概要		さまざまな現代の優れた文章(評論、文学作品)を読み、基本的な読解力を身につけ、自分の考えや感想をもち、発表する力を養い、さらに書く力(表現力)をも養う。国語を通じて、多彩な文章表現に触れることで豊かな感性を育み、文学作品への親しみや読書への親しみを育てる。					
授業の進め方・方法		予習として本文に目を通しておこう。国語はあらゆる学問の基礎となるものであることを自覚し、読解力や表現力の向上に努めよう。アクティブラーニングを取り入れた発表形式の授業やグループワークの際には、他の学生とコミュニケーションをはかり、積極的に参加すること。夏休みには読書感想文を課すので、日頃から本への関心をもつことが望ましい。					
注意点		ノートは必ずとりましょう。 平常点になる漢字テストや提出物はしっかりと取り組み、提出してください。					
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。 本科目は履修要覧(p.9)に記載する「④選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	評論 1「生きもの」として生きる		1,3		
		3週	評論 1「生きもの」として生きる		1,3		
		4週	評論 2「水の東西」		1,3		
		5週	評論 2「水の東西」		1,3		
		6週	評論 2「水の東西」		1,3		
		7週	中間試験				
		8週	試験返却 小説 1「羅生門」		2,3		
	2ndQ	9週	小説 1「羅生門」		2,3		
		10週	小説 1「羅生門」		2,3		
		11週	小説 1「羅生門」		2,3		
		12週	小説 1「羅生門」		2,3		
		13週	小説 1「羅生門」		2,3		
		14週	小説 1「羅生門」		2,3		
		15週	前期末試験				
		16週	試験返却 評論 4「ものことば」		1,3		
後期	3rdQ	1週	評論 4「ものことば」		1,3		
		2週	評論 4「ものことば」		1,3		
		3週	評論 4「ものことば」		1,3		
		4週	評論 5「間の感覚」		1,3		
		5週	評論 5「間の感覚」		1,3		
		6週	評論 5「間の感覚」		1,3		
		7週	中間試験				
		8週	試験返却				

	4thQ	9週	小説2「夢十夜」第一夜	2,3
		10週	小説2「夢十夜」第一夜	2,3
		11週	小説2「夢十夜」第一夜	2,3
		12週	小説2「夢十夜」第六夜	2,3
		13週	小説2「夢十夜」第六夜	2,3
		14週	小説2「夢十夜」第六夜	2,3
		15週	学年末試験	
		16週	試験返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文社会科学	国語	国語	論理的な文章（論説や評論）の構成や展開を的確にとらえ、要旨・要点をまとめることができる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8
				論理的な文章（論説や評論）に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10
				社会生活で使われる語彙（故事成語・慣用句等を含む）を増やし、思考・表現に活用できる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後11,後12,後13,後15,後16
				文学作品（小説・随筆・詩歌・古典等）を文脈に即して鑑賞し、そこに描かれたものの見方や登場人物の心情を説明できる。	2	前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後9,後10,後11,後12,後13,後15,後16
				言語的・文化的教養（語彙・知識等）に広く関心を持ち、そこで得られた知識や考え方を効果的な表現に活用できる。	2	前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後9,後10,後11,後12,後13,後15,後16
				言語作品の読解を通して、人間や社会の多様な在り方についての考えを深め、自己を客観的に捉えたり自分の意見を述べるができる。	2	前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後9,後10,後11,後12,後13,後15,後16
				常用漢字を中心に、日本語を正しく読み、表記できる。	3	前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,後9,後10,後11,後12,後13,後15,後16
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集し、それを整理、分析できる。	2	前2,前3,前6,前7,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後12,後13,後14,後15,後16
				整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開、表現方法を工夫し、報告・論文を作成できる。	2	前6,前7,前11,前12,前13,前14,後3,後6,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後16

				作成した報告・論文の内容及び自分の思考や考察を資料（図解・動画等）にまとめ、的確に口頭発表できる。	2	前3,前6,前12,前13,前14,後3
				課題や条件に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	前2,前3,前11,前12,前13,前14,後3,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	2	前3,前7,前11,前12,前13,前14,後3,後6,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	前3,前11,前12,前13,前14,後3,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	課題	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0